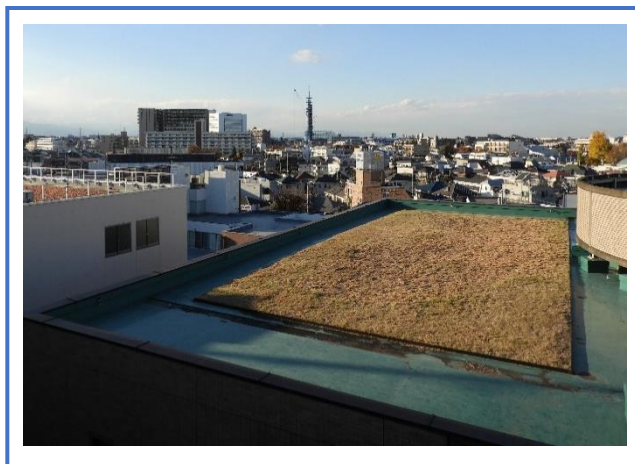
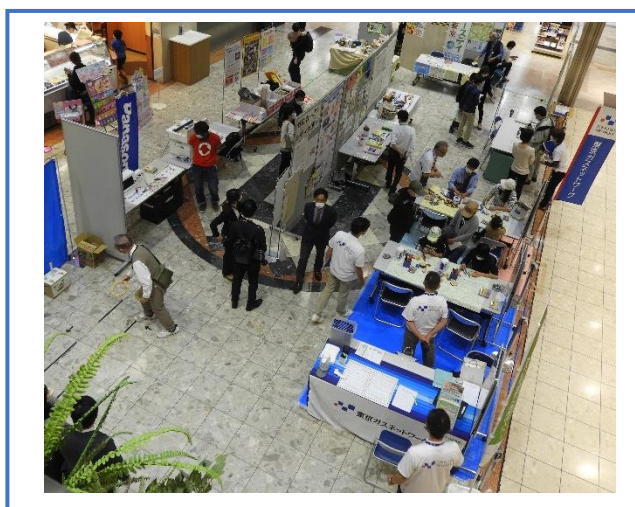


令和4年度

【令和4年4月～令和5年3月】

西東京市環境白書 環境活動レポート



令和6年3月

目次

1.環境白書・環境活動レポートについて.....	1
1-1 環境白書・環境活動レポートの役割.....	1
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成.....	1
2.関係計画について.....	2
3.環境方針.....	3
4.推進体制.....	4
5.西東京市の概要.....	5
6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況.....	7
基本方針1	7
基本方針2	9
基本方針3	10
基本方針4	11
基本方針5	12
7.市の事務事業から排出される温室効果ガス削減の取組.....	16
8.市の環境に関する取組.....	24
9.市長による全体評価及び今後の取組.....	39

環境白書

環境活動レポート



西東京市マスコットキャラクター

いこいな ©シンエイ/西東京市

自然と生き物のふれあいを守る森の妖精です。

西東京いこいの森公園でみどりや生き物を育てる
お手伝いをしています。

1. 環境白書・環境活動レポートについて

1-1 環境白書・環境活動レポートの役割

令和4年度「西東京市環境白書・環境活動レポート」は、次の4つの役割を果たします。

【環境白書】

- ☆ 「西東京市環境基本条例」第16条に基づき、市域の環境の状況及び環境保全施策の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の進捗状況の点検・評価

【環境活動レポート】

- ☆ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第1項に基づく「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」の実施状況の公表
- ☆ 「西東京市環境マネジメントシステム」による市の環境活動の取組状況の報告

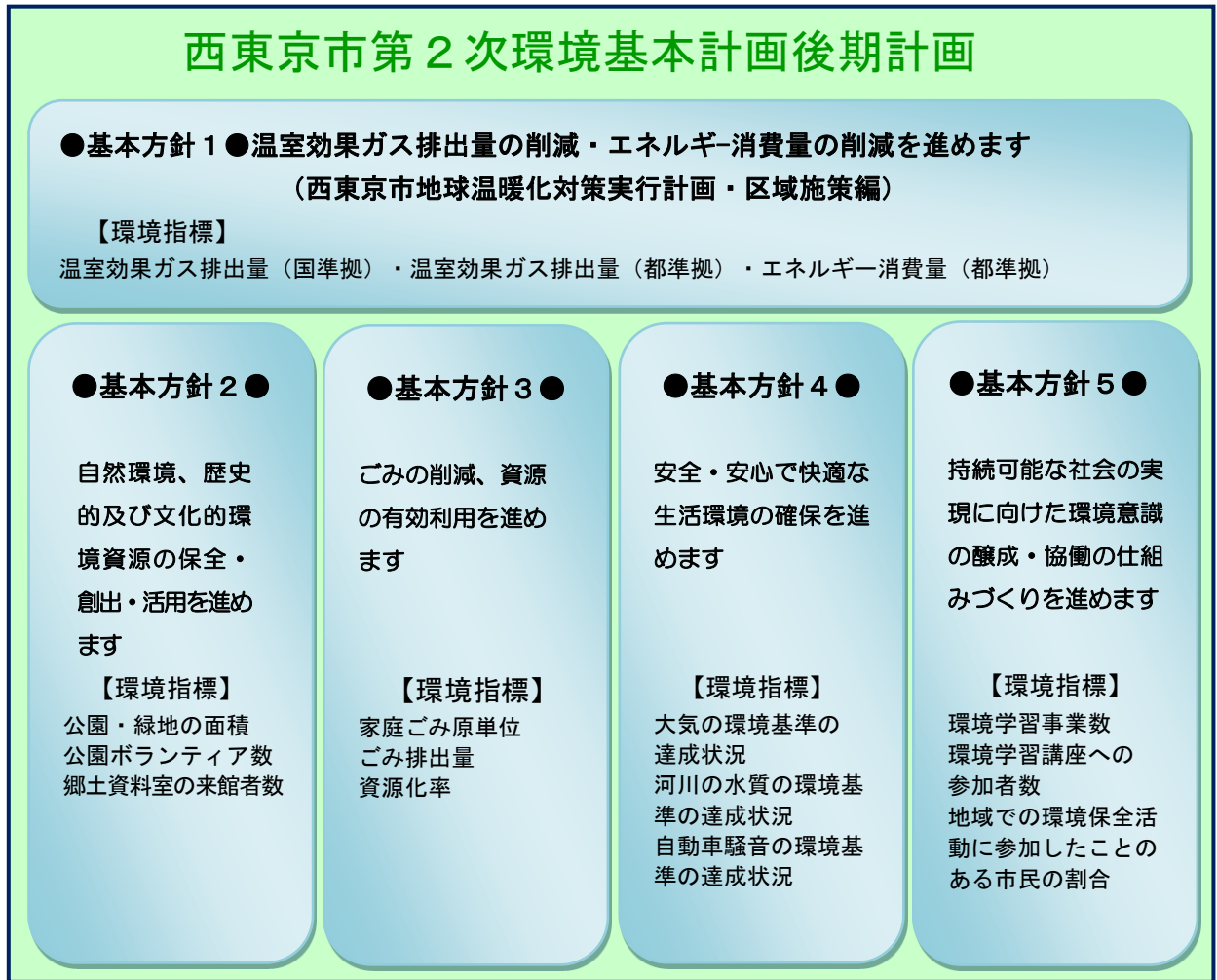
環境白書は、「西東京市第2次環境基本計画後期計画」（以下、「後期計画」という。）に基づく取組状況や環境指標に対する目標の達成状況を点検・評価します。また、西東京市の環境の状況や施策・事業の取組状況を把握し、報告します。平成31（2019）年3月に策定した後期計画は、「西東京市環境基本条例」に基づいて市の環境の保全に関して長期的な目標を定めた「西東京市第2次環境基本計画」（平成26（2014）年3月策定）（以下、「2次計画」という。）策定から5年が経過し、計画の中間見直しの時期を迎えたことを受け、近年の複雑化する様々な環境問題や深刻化する地球温暖化に対し、より効果的な対策を行うため、2次計画を見直し「西東京市地球温暖化対策地域推進計画（平成22（2010）年3月策定）」を「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」として新たに包含した他、SDGs（持続可能な開発目標）の目標実現への貢献という視点を加えた計画です。後期計画では、2次計画に引き続き西東京市のめざす環境の将来像を「自然とのふれあいを皆で大切に育む すごしやすい安心なまち 西東京」とし、5つの基本方針とそれらを実現するための指標や取組の方向を設定しています。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、令和2（2020）年3月に策定した「西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）」では、市のすべての事務事業を対象範囲として、エネルギー起源二酸化炭素の管理（カーボン・マネジメント）を強化しています

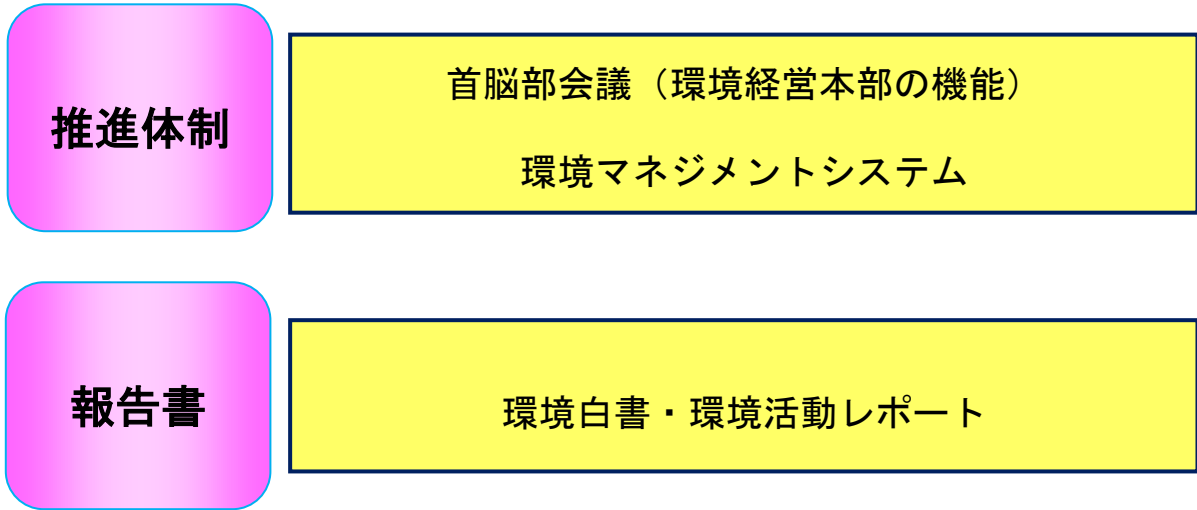
1-2 環境白書・環境活動レポートの構成

前半は、西東京市の環境の現状及び「西東京市第2次環境基本計画後期計画」の環境指標に対する達成状況をまとめた「環境白書」であり、後半は、市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量削減の取組をまとめた「環境活動レポート」となっています。

2.関係計画について



西東京市第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画(改訂版)



3.環境方針

西東京市環境方針

1 基本理念

地球温暖化の影響と考えられる大型台風、集中豪雨、記録的猛暑などの異常気象は、私たちの生活に多大な影響をもたらすほか、生物多様性の劣化を進めるなど地球規模の環境問題を顕在化させています。この地球温暖化を防止するため、世界的な脱炭素化の潮流が広がる中、西東京市（以下「市」という。）も国際社会の一員として、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指すことが必要です。

市は、「西東京市第2次環境基本計画（後期計画）」「西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編」に基づき市内の環境保全に取り組むとともに、2022年2月の「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、市民、事業者及び市での脱炭素社会づくりに努めます。

いつまでも元気な地球を守り、きれいな地球を未来の人たちへつなぐため、あらゆる環境問題の改善に継続的に取り組むことで、生物多様性の恵みを受けながら持続的に発展・成長する世界に貢献します。

2 基本方針

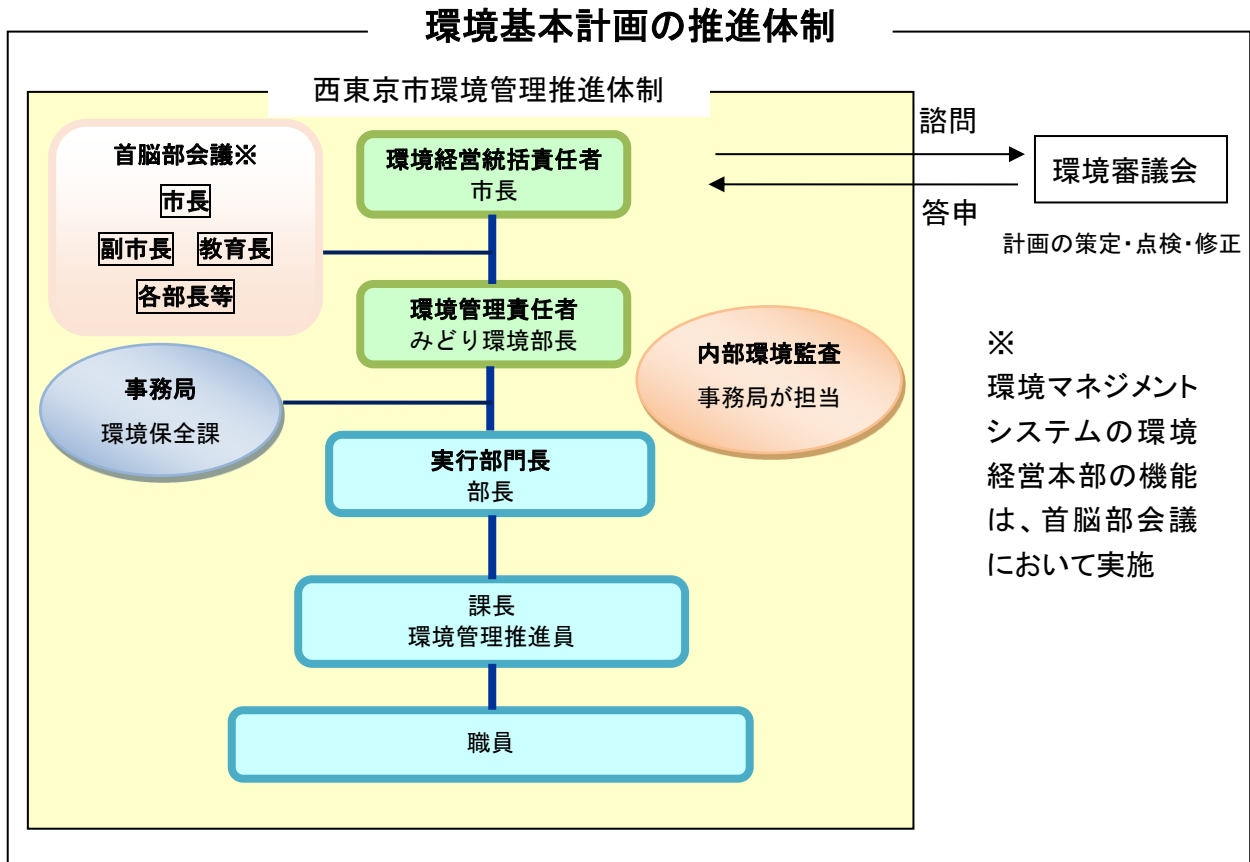
基本理念の実現のため、次の項目に取り組みます。

- (1)市の事務・事業について環境マネジメントシステムにより、PDCAサイクルに基づく継続的改善を図り、温室効果ガスの排出量削減など、環境負荷の低減に努めます。
 - ①市の事務・事業にかかわる全ての活動において、省エネルギー・省資源化に努めること、及び公共施設における再生可能エネルギーの導入を推進します。
 - ②公共工事、委託業務における環境負荷の低減に努めます。
 - ③使い捨てプラスチックの排出を削減するなど廃棄物の減量及びリサイクルを推進します。
 - ④エコドライブの実践、環境に配慮した車の導入を推進します。
 - ⑤物品等の調達時には、グリーン購入基準に基づき、より高い環境性能がある品目を選択します。
 - ⑥職員全員に基本理念を周知するとともに環境情報の提供・研修等を行い、職員の環境保全への意識の向上を図ります。
- (2)二酸化炭素の吸収源となるみどりを保全するとともに新たな創出を行います。
- (3)イベントによる環境に関する情報発信及び啓発とともに、環境学習を推進することで、環境意識の高揚を図ります。
- (4)市域の二酸化炭素削減に資するよう、市民及び事業者への支援に努めます。
- (5)環境白書（環境活動レポート）を作成し、市の活動内容を公表します。
- (6)市の環境状況を把握するため、各種環境測定や監視を継続し、公表します。

令和4年2月21日

西東京市長 池澤 隆史

4.推進体制



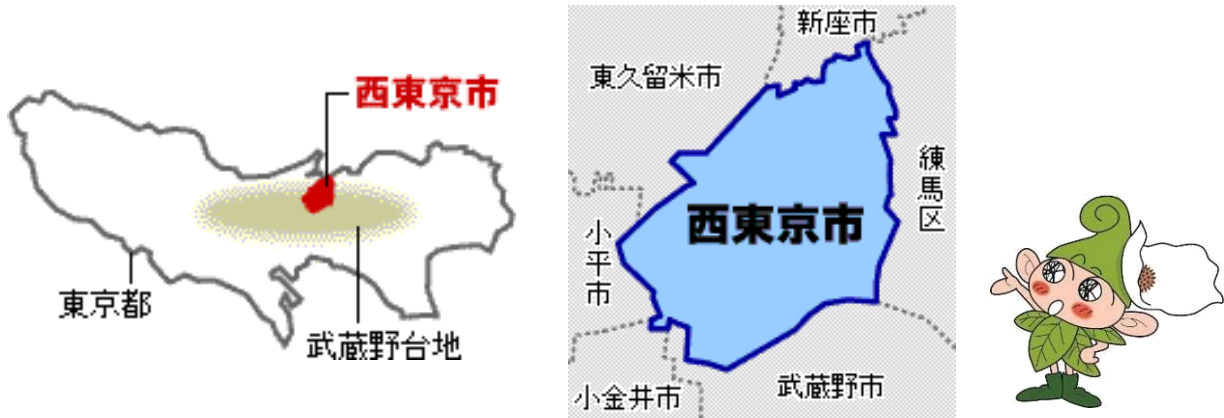
【環境マネジメントシステム対象組織】

全組織が対象範囲となります。

部	課・施設
企画部	企画政策課 財政課 公共施設マネジメント課 秘書広報課 情報推進課
総務部	総務課 職員課 建築営繕課 契約課 危機管理課
市民部	市民課 保険年金課 市民税課 資産税課 納税課
健康福祉部	地域共生課 生活福祉課 高齢者支援課 障害福祉課 健康課
子育て支援部	子育て支援課 幼児教育・保育課 児童青少年課 子ども家庭支援センター 保育園 児童館 学童クラブ
生活文化スポーツ部	文化振興課 スポーツ振興課 産業振興課 協働コミュニティ課
みどり環境部	みどり公園課 環境保全課 ごみ減量推進課
まちづくり部	都市計画課 住宅課 交通課 建築指導課
都市基盤部	道路課 用地課 下水道課
会計管理者	会計課
教育委員会 教育部	教育企画課 学務課 教育指導課 教育支援課 社会教育課 公民館 図書館 市立小中学校
議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
監査委員事務局	

5.西東京市の概要

西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には5つの駅（田無駅・ひばりヶ丘駅・保谷駅・西武柳沢駅・東伏見駅）があります。都心部とのアクセスが非常に良く、住宅都市として発展してきています。市内の各所に雑木林・屋敷林・農地がみられ、武蔵野の面影が残されています。



《西東京市の概況》

面積	15.75km ²
人口・世帯数 (外国人住民を含む。)	205,943 人 101,497 世帯 (令和5年4月1日現在)

《事業所の概況》

自治体名	西東京市
代表者	市長 池澤 隆史
所在地	東京都西東京市南町五丁目6番13号
令和4年度当初予算額（一般会計）	77,090,000 千円
職員数	981 人(令和4年4月1日現在)

《事業活動の内容》

一般行政事務、保育、教育等市民の日常生活に密接に関係する様々な行政サービスの提供

《環境に関する条例の制定及び計画の策定・環境マネジメントシステムの取組》

	条例の制定及び計画の策定	環境マネジメントシステムの取組
平成14年4月	環境基本条例制定	
平成15年10月		I S O14001 認証取得
平成16年3月	環境基本計画策定	
平成17年3月	地球温暖化対策実行計画策定	
平成18年4月	環境基本条例改正	
平成18年10月		I S O14001 更新
平成20年3月	地球温暖化対策実行計画（後期実行計画）策定 環境配慮行動の指針策定 環境学習基本方針策定	
平成20年7月		環境方針策定
平成20年8月		エコアクション21 運用開始
平成21年3月	環境基本計画後期計画策定	
平成21年4月		エコアクション21 認証取得
平成22年3月	地球温暖化対策地域推進計画策定	
平成22年6月		環境方針改訂
平成23年3月	第二次地球温暖化対策実行計画策定	エコアクション21 更新
平成25年3月		エコアクション21 更新
平成25年9月		環境方針改訂
平成26年3月	第2次環境基本計画策定	
平成27年3月		エコアクション21 更新
平成28年3月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画策定	
平成29年4月		カーボン・マネジメントシステム導入
平成31年3月	第2次環境基本計画後期計画策定	
令和2年3月	第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画（改訂版）策定	
令和4年2月	ゼロカーボンシティ宣言 西東京市ゼロカーボンシティガイドラインの策定	

6.西東京市第2次環境基本計画後期計画の取組状況

基本方針1

温室効果ガス排出量の削減・エネルギー消費量の削減を進めます (西東京市地球温暖化対策実行計画・区域施策編)

温室効果ガスの排出量及びエネルギー消費量の削減に向け、公共施設において省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの導入利用、二酸化炭素吸収源としてのみどりの保全や再生等を率先して行います。

また、市民や事業者の自主的な取組を後押しし、市民・事業者・市が一体となった取組を進め、低炭素社会の実現を目指します。

一方、避けることが困難であると予想される地球温暖化による様々な影響への適応について、検討を行います。

環境指標	令和12 (2030)年度 目標値	令和2 (2020)年度 実績※	前年度比 (増減率)	令和元 (2019) 年度実績※	担当課
温室効果 ガス排出量 (国準拠)	443 千 t-CO ₂ 平成25(2013) 年度比26%減	545千 t-CO ₂	13千 t-CO ₂ 2.4%	532千 t-CO ₂	環境保全課
温室効果 ガス排出量 (都準拠)	360 千 t-CO ₂ 平成12(2000) 年度比30%減				
エネルギー 消費量 (都準拠)	4,327TJ 平成12(2000) 年度比38%減	5,527TJ	166TJ 3.1%	5,361TJ	

※オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の公表数値

温室効果ガス排出量の削減目標は、国と東京都に準拠した2つの目標を掲げます。また、温室効果ガスの排出量は排出係数の影響を受けることから、東京都に準拠したエネルギー消費量の削減目標も掲げます。

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が公表している最新の令和2(2020)年度の数値はいずれも前年度より増加しております。これは、新型コロナウイルス感染症によって在宅時間が増え、電気やガスの使用量が増加したことが考えられます。目標値の達成は厳しい状況となるため、市民、事業者、市が一体となり、徹底した対策を行う必要があります。

【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

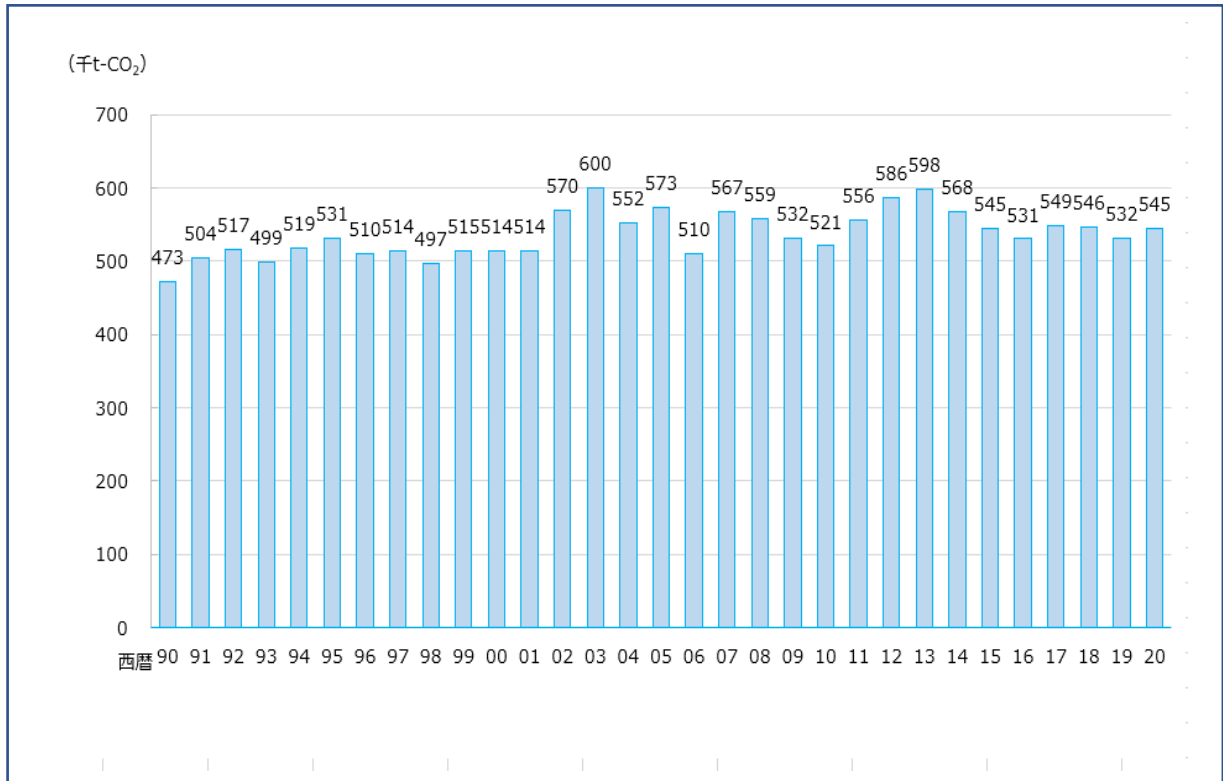
西東京市では、これまで地球温暖化防止に取り組んでおりますが、環境負荷の少ないまちを次世代につなぐため、令和4年2月にゼロカーボンシティ宣言を行うとともに、「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」を策定し、西東京市内で排出される温室効果ガス削減量の目標を以下のとおり新たに決めました。

- 2050年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比（国基準年度）46%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

基準年度（2013年度）排出量	2020年度排出量	中間目標（2030年度目標）	2050年目標
598千t-CO ₂ （A）	545千t-CO ₂ （B） 基準年度比8.9% 減	323千t-CO ₂ （C） 2013年度比46%削減	温室効果ガスの実質ゼロ
		2030年度目標までの達成率	
		19.3%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	

西東京市内の温室効果ガス排出量の推移



資料：みどり東京・温暖化防止プロジェクト

基本方針2

自然環境、歴史的及び文化的環境資源の保全・創出・活用を進めます

みどりの保全・創出・活用を進めるとともに、生命に満ちあふれた自然環境を育てるために、生物多様性の保全に取り組み、自然とふれあうことができ、みどりあふれる西東京市を目指します。

また、国史跡下野谷遺跡をはじめとした市内の文化財の保存・活用を進めるとともに、社寺等の歴史的及び文化的環境資源として守られてきた貴重な自然環境も将来世代へ引き継いでいくよう努めます。

環境指標	令和5 (2023)年度 目標	令和4 (2022)年度 実績	前年度比 (増減率)	令和3 (2021)年度 実績	担当課
公園・緑地の 面積	255,132 m ²	260,141 m ²	2,288 m ² 0.9%	257,853 m ²	みどり公園課
公園 ボランティア 数	890 人	941 人	15 人 1.6%	926 人	みどり公園課
郷土資料室の 来館者数	3,000 人	2,165 人	▲71 人 ▲3.2%	2,236 人	社会教育課

令和4年度は、向台四丁目第4公園、南町六丁目第2公園の新設、えのき児童遊園を拡張しました。公園ボランティアは、市内の公園・緑地にて、花植え、除草、清掃等の活動を実施しています。人数は増加傾向にあります。

郷土資料室は、市内の郷土資料（考古資料・歴史資料・民具・民俗資料）を収集・保管・保存・展示するための施設です。旧石器時代の石器、縄文時代の土器、鎌倉・室町時代の板碑、江戸時代の高札、蕪山笠や、元市内在勤者が制作した歴史ジオラマ12景などの郷土資料を5つの展示室で公開しています。常設展の他、夏休みの時期に合わせたワークショップや、企画展1回を実施しました。また、学校教育や生涯学習と連携し、団体見学などを受け入れました。



基本方針3**ごみの削減、資源の有効利用を進めます**

循環型社会をさらに推進するために、市民の意識づくりや、ごみの発生抑制、再使用、再生使用を推進します。

また、ごみの発生抑制や資源化の取組に一定の成果を挙げている事業者、環境に配慮している事業者の支援や柳泉園組合におけるごみの効率的な共同処理等を進めます。

市民・事業者・市が一体となってごみの削減と資源化を推進し、環境負荷の少ない資源循環型社会の構築を目指します。

環境指標	令和5 (2023) 年度目標	令和4 (2022) 年度実績	前年度比 (増減率又は 増減幅)	令和3 (2021) 年度実績	担当課
家庭ごみ 原単位 ^{※1}	347g/人・日	353g/人・日	▲16 g/人・日 ▲4.3%	369g/人・日	ごみ減量 推進課
ごみ 排出量 ^{※2}	31,053t/年	32,967t/年	▲1,154 t/年 ▲3.4%	34,121t/年	ごみ減量 推進課
資源化率 ^{※3}	37.1%	32.4%	▲0.1 ポイント	32.5%	ごみ減量 推進課

※1 家庭から排出される、1人1日当たりの平均ごみ量（可燃ごみ+不燃ごみ+粗大ごみ+有害ごみ）

※2 家庭から排出されるごみと、柳泉園組合へ搬入されるごみ量の合計（家庭ごみ+自己搬入可燃ごみ）

※3 一般廃棄物の総排出量に対する、回収された資源の量の割合（分別回収資源物排出量+集団回収資源物排出量）／（資源ごみ排出量+ごみ排出量）

家庭ごみ原単位（1人1日当たりのごみ排出量）は、16g/人・日の減で前年度比4.3%の減少及びごみ排出量は、1,154t/年で前年度比3.4%の減少となりました。

要因としては、新型コロナウイルス感染の影響による外出の抑制がある程度解除され、外食の回復等による家庭ごみの減少と考えられます。

資源化率は前年度と横ばいになっています。資源物では有用金属の売払いや生ごみ及び剪定枝無料回収による堆肥化を実施しており、昨年度に引き続き、生ごみ回収約280世帯、剪定枝600tを回収し、資源化の推進に取り組んでいます。

人口10万人以上50万人未満の区市町村において、西東京市の1人1日当たりのごみの排出量は、令和3年度で実績全国7位となっています。また、リサイクル率は全国で10位となっています。

基本方針4

安全・安心で快適な生活環境の確保を進めます

安全・安心で、快適な生活環境とするために、大気や河川等のモニタリング、交通環境の充実、市内美化の推進等を継続して実施します。

また、道路の段差解消等バリアフリー化や電線類地中化を進めるとともに、マイカーに過度に頼らず移動しやすい低炭素な交通環境の実現等、子どもから高齢者まですべての世代に配慮されたまちを目指します。

環境指標	令和5（2023） 年度目標	令和4（2022） 年度実績	令和3（2021） 年度実績	担当課
大気 の環境基準※1 の達成状況	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 1/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	二酸化窒素 3/3 浮遊粒子状物質 3/3 光化学オキシダント 0/1 (達成地点/測定地点)	環境保 全課
河川の水質 の環境基準 の達成状況	環境基準以下を維持 (BOD 3mg/L 以下) (石神井川溜漕橋)	BOD 0.9mg/L	BOD 0.9mg/L	
自動車騒音 の環境基準 の達成状況	昼間 100% 夜間 100%	昼間 94% 夜間 88%	昼間 100% 夜間 81%	

※1 二酸化窒素…1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下
浮遊粒子状物質…1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下
光化学オキシダント…1時間値が0.06ppm以下

二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度は、測定地点全てで環境基準を下回り、目標を達成しています。光化学オキシダントについては、令和4年度は、注意報(0.12 ppm以上)が4回(前年度3回)、学校情報(0.10 ppm以上)が9回(前年度9回)発令され、環境基準を達成できませんでした。

河川の水質(BOD)の数値は0.9mg/Lとなっており、環境基準以下の維持を継続しています。

自動車騒音の環境基準の達成状況については、昼間(6時から22時)夜間(22時から翌6時)ともに目標達成できませんでした。

基本方針5

持続可能な社会の実現に向けた 環境意識の醸成・協働の仕組みづくりを進めます

環境の将来像を実現するために、市民・事業者・市のすべての人々の環境に対する意識の向上と自発的な環境保全活動への参加が重要となることから、環境に関する情報を発信し、市民や事業者が環境保全活動に参加しやすい環境を提供していきます。

また、次世代を担う子どもたちに環境教育・環境学習の場を提供するとともに、SDGsの概念の普及・啓発を行い、持続可能な社会の実現に向けた環境意識の醸成を進めます。

環境指標	令和5 (2023)年度 目標	令和4 (2022)年度 実績	前年度比 (増減率又 は増減幅)	令和3 (2021)年度 実績	担当課
環境学習 事業数	140事業 を維持	63事業	▲6事業 ▲8.7%	69事業	環境保全課 ほか
エコプラザ西東 京環境学習講座 への参加者数	1,500人 を維持	533人	183人 15.2%	350人	環境保全課
地域での環境保 全活動に参加し たことのある 市民の割合	10%	8.6% ^{※1}	▲0.4 ポイント	— (参考) 9% ^{※2}	環境保全課

※1 西東京市第3次環境基本計画策定に伴う市民意識調査結果より（令和4年11月実施）

※2 西東京市第2次環境基本計画後期計画策定に伴う市民意識調査結果より（平成30年8月実施）

環境学習事業数は、各部署で実施している参加型体験型の事業やイベント等の総数です。令和4年度は、総事業数は減少しましたが、エコプラザ西東京での事業数、参加者数は増加しました。

主催	内容
みどり公園課 (4回)	みどりの散策路めぐり ①新しい道と懐かしさに触れるコース 参加者 36名 ②芝久保町のみどりを訪ねるコース 参加者 29名 ③向台・小金井公園コース 参加者 27名 ④上保谷コース 参加者 28名

環境保全課(延べ23回)	エコプラザ西東京主催事業(19講座)
--------------	--------------------

○エコプラザ西東京主催事業19講座の内訳

開催順

No.	内 容	参加数(人)
1	夏休み自由研究 2022 ペットボトルで作るソーラーランタン～自然のエネルギーを学ぼう！～	15
2	夏休み自由研究 2022 エコあそび	118
3	夏休み自由研究 2022 マスキングテープでオリジナルうちわを作ろう	28
4	夏休み自由研究 2022 動くおもちゃを作ろう～おどるガイコツちゃん～	30
5	夏休み自由研究 2022 押し花はがきを作ろう	28
6	夏休み自由研究 2022 竹とんぼを作ろう	63
7	夏休み自由研究 2022 風と遊ぼう～風向計を作る～	25
8	夏休み自由研究 2022 燃料電池ってなんだろう？	22
9	夏休み自由研究 2022 風と遊ぼう～風車を作る～	22
10	知っておくと役立つ！LED照明の話	16
11	気候変動による災害が多発！「西東京市での災害に備えてポイントを学ぶ」	10
12	縄文式火起こしに挑戦しよう！～エコキャンプのススメ～	22
13	知っておきたい！省エネ住宅～新築・リフォームのポイント～	29
14	ごみ処理場「柳泉園組合」見学会	20
15	日本の伝統的な「エコバッグ」ふろしき活用講座	14
16	ガスミュージアム親子見学会	14
17	野鳥観察会～早春の渡り鳥～	26
18	できることから始めよう！楽しみながら省エネ生活	3
19	「環境漫画ポスターを描こう」～プロの漫画家から学ぼう～	28



ペットボトルで作るソーラーランタン



ガスミュージアム親子見学会（小平市）



「野鳥観察会」～早春の渡り鳥～



縄文式火起こしに挑戦しよう～エコキャンプのススメ～

環境フェスティバル

11月13日（日）田無アスタ専門店街 2階センターコートで開催しました。

「いつまでも元気な地球を守りたい、きれいな地球を未来の人へ」と題して、ゼロカーボンシティ宣言のパネル、エコ工作、小学生環境かるたの展示、パネル展、LEDあかり実験、0円均一（不用品リユース地域活動）などを行い、203人の方が来場しました。また、第1回にしとうきょう環境アワードの表彰式を行いました。



主 催	内 容
公民館（延べ35回）	<p>【田無公民館】 小学生と保護者で楽しむ講座 水辺の生物 ～落合川の観察会と壁面水族館づくり（3回）</p> <p>【芝久保公民館】 暮らしに役立つ実学講座 食品ロス削減に取り組もう（1回）</p> <p>【谷戸公民館】 ①子ども向け自然観察講座 カブトムシが好きな子あつまれ！（3回） ②親子で楽しむ講座 谷戸セミナーⅤ セミの羽化観察会（1回） ③農業を知る講座（23回）</p> <p>【保谷駅前公民館】 『身近な生き物の生態にクローズアップ「ナメクジやカラスは好きですか？」』（4回）</p>

共 催	内 容
公民館（1回） ※市民企画事業	公民館市民企画事業：「さがそう！ 夏の生き物 夏休み親子自然観察会」 実施団体：「西東京 自然を見つめる会」

7.市の事務事業から排出される温室効果ガス削減の取組

7-1 エネルギーに関する取組状況

西東京市では、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体の事務及び事業に関する実行計画として「西東京市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定しております。

これに基づき、市も地域における事業所のひとつと捉え、率先して温室効果ガスの排出削減に取り組み、地域の温室効果ガス排出抑制に向けてリーダーシップを取ることで、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

以下は、市の事務事業により使用されたエネルギーや廃棄物削減等の取組状況です。

① 温室効果ガス排出量 (対象：全ての公共施設及び庁用車からの排出量)

	令和4年度実績値	令和3年度実績値	増減比
CO ₂ 換算総排出量	10,721,139 kg-CO ₂	10,300,181 kg-CO ₂	4.1%

(エネルギー別内訳)

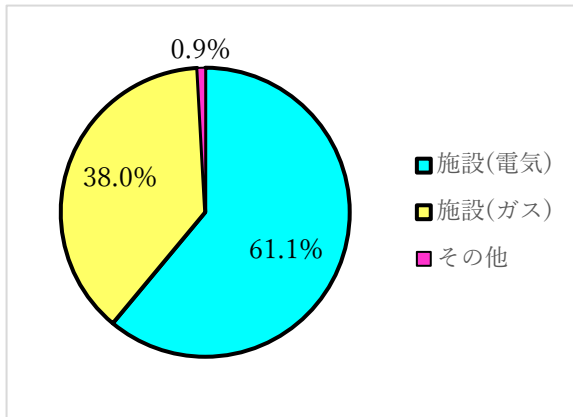
種別		令和4年度実績値	令和3年度実績値	増減比
施設	電気起源 CO ₂	6,548,459 kg-CO ₂ 東京・北陸電力 : 4,121,974 kg-CO ₂ 新電力※1 : 2,426,485 kg-CO ₂	6,456,997 kg-CO ₂ 東京電力 : 2,466,679 kg-CO ₂ 新電力 : 3,990,318 kg-CO ₂	1.4%
	A重油起源 CO ₂	100 kg-CO ₂	81kg-CO ₂	23.3%
	LPG起源 CO ₂	516 kg-CO ₂	328 kg-CO ₂	57.3%
	都市ガス起源 CO ₂	4,078,361 kg-CO ₂	3,744,916 kg-CO ₂	8.9%
	灯油起源 CO ₂	1,061 kg-CO ₂	1,143 kg-CO ₂	▲7.2%
	軽油起源 CO ₂	124 kg-CO ₂	109 kg-CO ₂	13.8%
	合計※2	10,628,621 kg-CO ₂	10,203,574 kg-CO ₂	4.2%
庁用車	ガソリン起源 CO ₂	52,190 kg-CO ₂	55,648 kg-CO ₂	▲6.2%
	軽油起源 CO ₂	38,826 kg-CO ₂	39,444 kg-CO ₂	▲1.6%
	冷媒起源 HFC	1,502 kg-CO ₂	1,516 kg-CO ₂	▲1.0%
	合計	92,518 kg-CO ₂	96,607 kg-CO ₂	▲4.2%

※1 市が契約した新電力：NF パワースービス(株)・(株)エネット・(株)UPDATER・デジタルグリッド(株) (令和4年度実績)

※2 小数点以下1位を四捨五入しているため、合計が内訳の計と一致しない場合がある。

●庁用車の電気起源 CO₂は算出不能のため未記載 (施設の電気起源 CO₂に含む)

図：市の事務事業による温室効果ガス排出量内訳



■施設ごとのエネルギー使用量 ※カッコ内は前年度の数字

	電気(kWh)		都市ガス(m ³)	A重油(ℓ)	LPG(プロパンガス)(m ³)	灯油(ℓ)	軽油(ℓ)
	東京・北陸電力	新電力					
市長部局	9,513,680(9,462,149)		738,065 (741,444)	37 (30)	79 (50)	426 (459)	48 (42)
	6,198,712 (4,659,190)	3,314,968 (4,802,959)					
小学校	3,845,718(3,626,934)		759,234 (674,369)	—	—	—	—
	1,551,106 (458,773)	2,294,612 (3,168,161)					
中学校	2,020,997(1,832,169)		277,266 (207,879)	—	—	—	—
	683,682 (0)	1,337,315 (1,832,169)					
教育局	1,250,268(1,130,589)		42,886 (45,165)	—	—	—	—
	686,320 (400,335)	563,948 (730,254)					
合計	16,630,663(16,051,841)		1,817,451 (1,668,857)	37 (30)	79 (50)	426 (459)	48 (42)
	9,119,820 (5,518,298)	7,510,843 (10,533,543)					

※ 教育局は図書館・公民館を含む。

【電気に占める事業者の割合】

- ・東京電力エナジーパートナー 25.5%(前年度 65.9%) CO₂排出係数 0.457 kg-CO₂
- ・東京電力パワーグリッド 20.6% CO₂排出係数 0.434 kg-CO₂
- ・北陸電力 8.7% CO₂排出係数 0.480 kg-CO₂
- ・新電力 45.2%(前年度 34.1%)
 - ①NF パワースervice CO₂排出係数 0.436 kg-CO₂
 - ②エネット CO₂排出係数 0.405 kg-CO₂
 - ③UPDATER CO₂排出係数 0.104 kg-CO₂
 - ④デジタルグリッド CO₂排出係数 0 kg-CO₂ (再エネ 100%のため)

※ただし、一部施設で再エネへの切り替えの関係でCO₂排出係数0.467kg-CO₂で計算している部分あり。

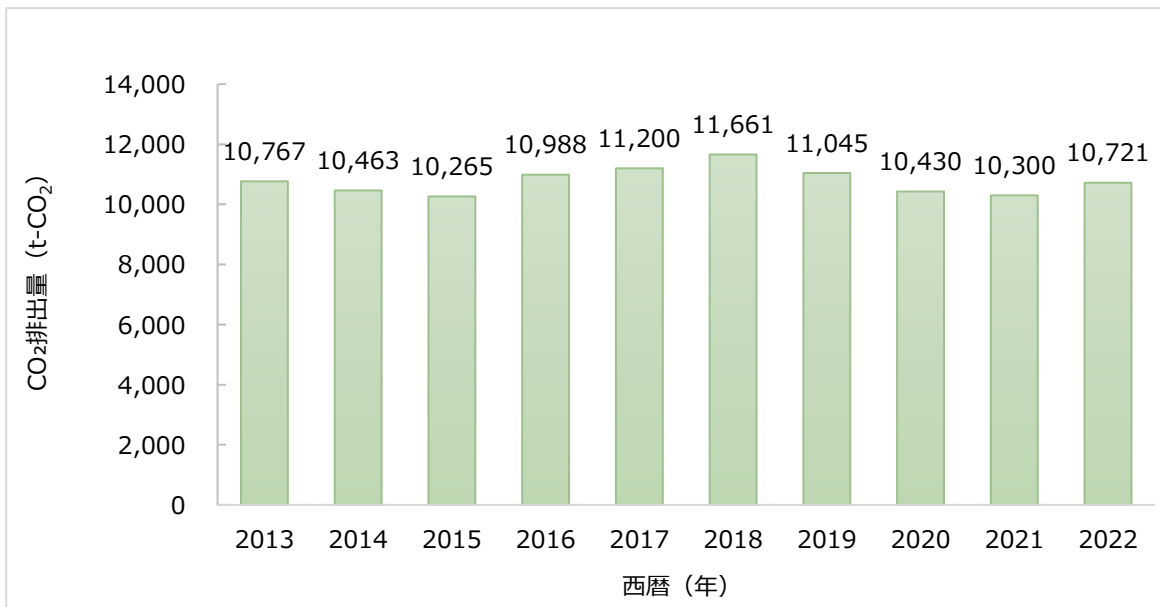
【西東京市ゼロカーボンシティガイドラインにおける目標値】

先述した「西東京市ゼロカーボンシティガイドライン」では、市が一事業者として、その事務事業から排出される温室効果ガスの削減について新たに目標を定めました。

- 2050年までに「温室効果ガス排出量を実質ゼロ」を目指します。
- 中間目標として、2030年度までに温室効果ガスの排出量を2013年度比（国基準年度）51%削減を目指します。

上記の目標値での削減割合は以下のとおりです。

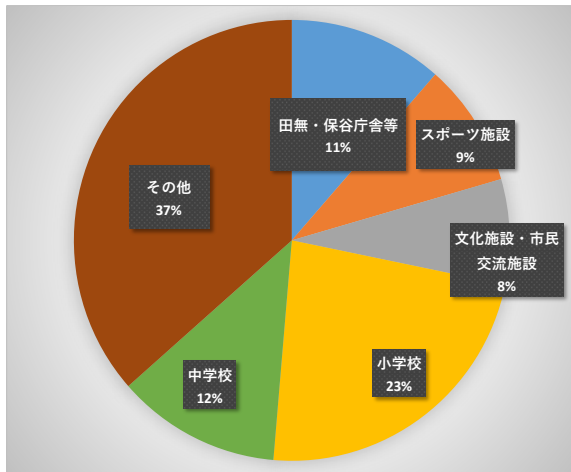
基準年度（2013年度）排出量	2022（令和4）年度排出量	中間目標（2030年度目標）	2050年目標
10,767t-CO ₂ （A）	10,721 t-CO ₂ （B） 基準年度比 0.4%減	5,275t-CO ₂ （C） 2013年度比 51%削減	温室効果ガスの実質ゼロ
		2030年度目標までの達成率	
		0.8%達成 $(A-B) / (A-C) \times 100$	



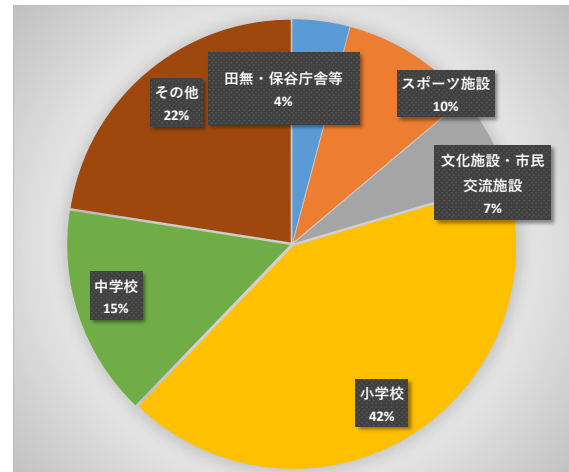
〔施設〕

施設全体の温室効果ガス排出量は、前年度比 4.2% 増となりました。前年度は、公共施設が新型コロナウイルスワクチン接種会場で使用され、かつ施設利用に制限もあったため、実施できなかった事業が一部ありましたが、令和4年度は施設の再開と利用制限の緩和がありました。そのため、エネルギー使用量が増加したとともに、契約した電気事業者の CO₂ 排出係数の影響もあり、温室効果ガス排出量は増加したと考えられます。

施設種類毎の電気使用量の割合



施設種類毎のガス使用量の割合



電気は、上の円グラフから、小中学校の割合が約 1/3 を占めることが分かります。市長部局は、田無・保谷庁舎、スポーツ施設、文化施設・市民交流施設の三者を合わせると施設全体の 3 割以上を占めています。小中学校、スポーツ施設及び文化施設・市民交流施設は、施設数も多く稼働時間の長い施設が多くあることから設備更新の際には、エネルギー効率の高い空調設備や LED 照明を積極的に取り入れていくことが、更なる電気使用量の抑制のため、重要な取組となります。

電気事業者に目を向けると、昨年度より東京・北陸電力を使用した施設が増加しました。これは、令和4年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻等が原因の電力供給不足により、概ね9月から翌年1月までの期間で高圧施設への電力供給が東京電力パワーグリッドとの最終保証供給契約に変わったからです。新電力のほうが東京・北陸電力に比べて CO₂ 排出係数が小さい電力会社が多く、温室効果ガス排出量を抑えられるため、CO₂ 排出係数などの動向を見ながら、選定を行う必要があります。また、高圧施設で2月から再エネ 100%の電力を活用し始めたため、CO₂ 排出係数がゼロとなっています（一部施設を除く。）。再エネ 100%の電力の活用を進めることで温室効果ガス排出量も抑えられるため、ゼロカーボンシティ実現に向けての重要なポイントとなります。

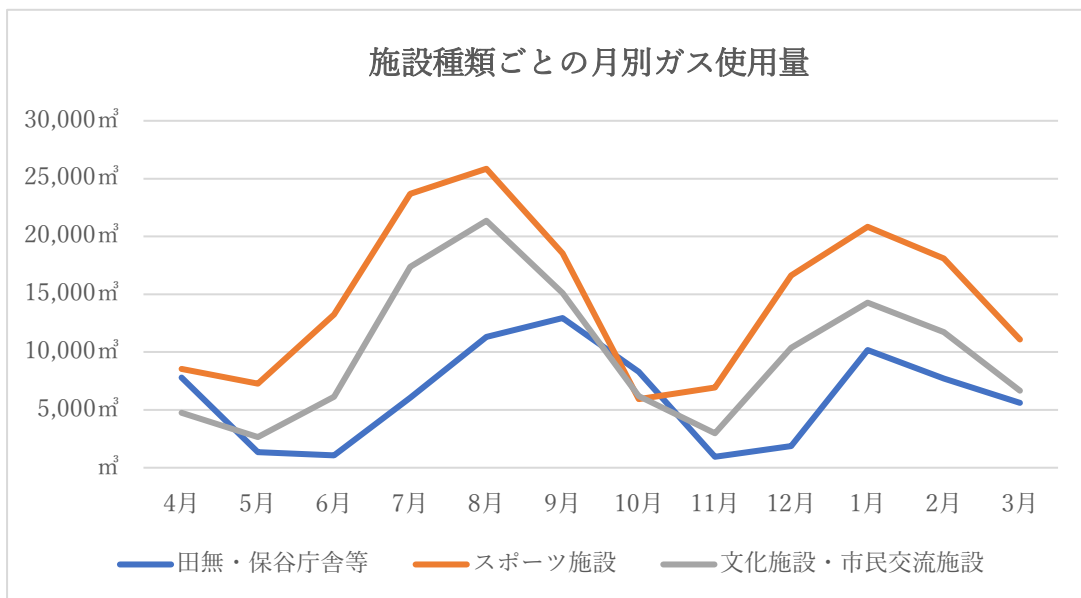
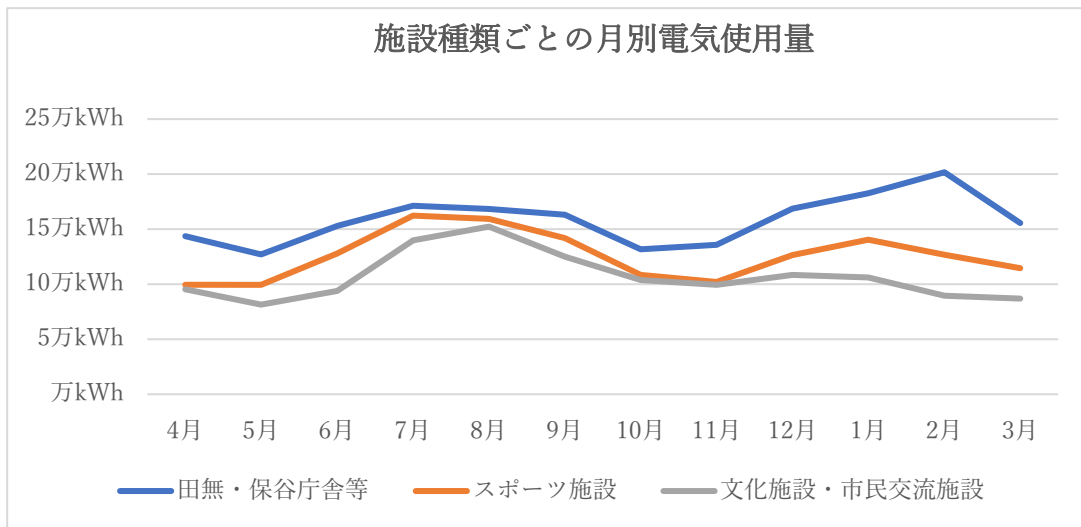
都市ガスは、昨年度より温室効果ガス排出量が 8.9% 増加しています。これは、事業再開による施設使用が増加したことが要因とみられます。

また、小学校、中学校では、令和3年度中に体育館に一部ガス空調設備を導入したことも、令和4年度使用量の増加につながったと考えられます。

A重油は、重油の使用は田無庁舎の自家発電用途だけになります。

LPGは、学童クラブと消防団詰所の一部で使用されています。

灯油・軽油は、それぞれ防災センター・保谷保健福祉総合センター、東分庁舎の非常用発電に用いられ、通常は試運転程度の使用で、温室効果ガス総排出量削減に大きな影響を与えるものではありません。



〔庁用車〕

庁用車において、前年度比 4.2%の温室効果ガス排出量の削減（前年度は 6.8%減）を達成しました。

市は 105 台（令和 4 年度末現在で貸与車を除く。）を稼働させています。令和 4 年度は前年度よりガソリン車 2 台を削減し、電気自動車 1 台を増車しました。

ガソリン起源 CO₂ 排出量は、前年度比 6.2%減となりました。また、軽油起源 CO₂ 排出量は、前年度比 1.6%減（前年度 15.3%減）となりました。

耐用年数の経過した庁用車を環境に配慮した自動車へ転換することで、温室効果ガス排出量の削減を図ります。また、エコドライブによる燃費の良い運転を心がけています。



燃料種類	台数
ガソリン	64 (66)
軽油	30 (30)
電気	8 (7)
プラグインハイブリッド※	3 (3)
合計	105 (106)

※カッコ内は前年度の台数

※プラグインハイブリッド(PHV)とは、電気自動車とハイブリッド自動車（HV*）の長所を合わせたクルマで、電気モーターだけで走らせることができます。ガソリンを使ったエンジンでも走行できるため、電池切れの心配がなく長距離運転も安心です。

*HV は、通常ガソリンエンジンで走りますが、走り出すときなどに電気モーターを補助的に使用します。環境にやさしいクルマの中で、現在最も普及しています。

7-2 その他資源の削減・資源循環の取組状況

① 水道使用量（対象：小・中学校を含む全公共施設の上水道使用量）

令和 4 年度実績値	令和 3 年度実績値	前年度比
315, 826 m ³	292, 433 m ³	7.4 %増

令和 3 年度は、新型コロナウイルスによる小中学校の休校や公共施設の休館の影響、学校、保育園でのプール活動の自粛により水道使用量は減少しましたが、令和 4 年度は、活動が再開し、前年度より使用量は増加しました。

庁舎などの公共施設では、節水の協力を呼びかけています。また、プール等では適正な水の利用を心がけています。

■施設ごとの水道使用量

施設所管	上水 (m ³)
市長部局	110,305 (101,873)
教育委員会	7,013 (6,352)
小学校	157,717 (150,353)
中学校	40,791 (33,855)
合計	315,826 (292,433)

※カッコ内は前年度の使用量



② 廃棄物排出量 (対象：小・中学校を含む全公共施設) ※不燃ごみは容器プラスチックを含む。

種別	令和4年度実績値	令和3年度実績値	前年度比
可燃ごみ	417,000 kg	387,310 kg	7.7%
不燃ごみ*	29,310 kg (内プラスチックごみ： 6,670 kg)	32,470 kg (内プラスチックごみ： 8,920 kg)	▲9.7% (内プラスチックごみ： ▲25.2%)

可燃ごみの増加は、感染症予防が進み、規制が緩和される中で、各課や施設の事業が再開したことが要因の1つとされます。中でも紙ごみが多く、会議等でのペーパーレス化を推進する必要があります。

不燃ごみのうちプラスチックごみは、前年度比▲25.2%となりました。これは、職員が購入する弁当等の容器包装の廃棄が減少したことなどが要因と考えられます。

今後も無駄が出ないように事業に取り組み、廃棄物が出た際は、リサイクルやリユースに取り組んで、ごみの分別を心がけていきます。



③ コピー用紙購入量 (田無庁舎・保谷庁舎)

令和4年度実績値	令和3年度実績値	前年度比
11,710,000 枚	11,312,000 枚	3.5%

庁内のコピー用紙は、古紙配合率の高いもので白色度の高くないものを選択しています。日常業務では、両面コピーや裏紙利用の徹底、電子決裁率の向上、電子データで共有する等、紙の使用削減に取り組めます。



④ 封筒使用数（会計課で把握している封筒の持出量）

種別	令和4年度実績値	令和3年度実績値	前年度比
角2	28,800枚	25,330枚	13.7%
長3	86,200枚	87,500枚	▲1.5%

不要になった封筒は、庁内文書交換便の袋として再使用しています。令和4年度については、角2封筒の使用は前年度より増加しましたが、長3封筒の使用はやや減少しました。



⑤ グリーン購入率（対象：小・中学校を除く全課・全施設）

対象	令和4年度実績値	令和3年度実績値
市長部局	83.6%	81.9%
教育委員会	91.2%	83.0%

各課・施設においては、物品等を購入する際は「西東京市環境物品等の調達ガイドライン」で確認し、集計表等でグリーン購入率を管理しています。引き続き、職員掲示板等を通じ、グリーン購入の促進を周知し、更なるグリーン購入率の向上を目指します。

8.市の環境に関する取組

各課・公共施設の取組から特徴的な環境活動を紹介します。

8-1 エネルギーに関する取組

★省エネルギーの推進

令和4年度は、以下の公共施設で設備工事を行い、省エネ機器の改修、省エネ設備、LED照明器具の導入を行いました。

- ・武道場空調設備取替工事
 - ・保谷こもれびホール受変電設備更新工事
 - ・田無庁舎空調設備改修工事
 - ・子ども家庭支援センター執務室改修工事
 - ・スポーツセンター事務室等空調設備改修工事
 - ・本町小学校体育館照明改修工事
- 他

★再生可能エネルギー設備の導入推進

公共施設における再生可能エネルギー導入実績

令和4年度末現在

- 太陽光発電設備 19箇所
- 太陽熱給湯設備 5箇所

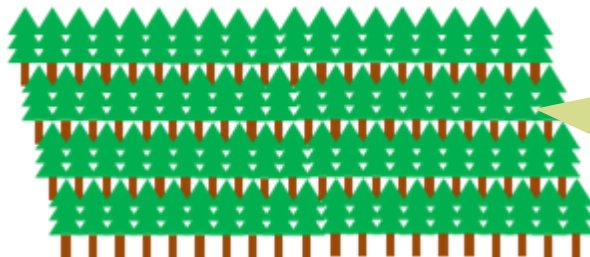
★再生可能エネルギー由来の電力調達の推進

公共施設の電力供給を受ける契約において、「西東京市電力調達に係る環境配慮方針」に基づき、公共施設のうち高圧施設において再エネ電力への切り替えを行いました（令和5年2月切り替え：42施設、3月切り替え7施設）。再エネ100%の電力は、CO₂排出係数は0となります。

★LED照明器具の半額助成を実施

環境保全課

環境にできるだけ負荷を与えないまちづくりを目指し、平成28年度から助成事業を実施しています。令和4年度には267件（工事：75件、購入：192件）の助成を行いました。その結果、36,374kg-CO₂の二酸化炭素（杉の木2,598本の吸収分）を削減できました。（助成額合計2,945,000円）



LEDへの取替えて
二酸化炭素 36,374kg-CO₂
(前年度 33,090kg-CO₂)
削減!

★市内中小企業者等高効率空調機器設置助成金事業を実施

環境保全課

市内から排出される二酸化炭素の約3割が業務部門からの排出となります。

このため、市では省エネ型の高効率空調に買い替えをする中小企業、個人事業主の方々に対し、その経費の一部を助成しました。

助成件数 116件

助成額合計 33,850,450円



★公園の灯具をLED灯具に取替え

みどり公園課

LED公園灯について、既存公園の設置（取替え）を5公園実施しました。

★街路灯の灯具をLED化

道路課

都内初となるESCO事業を活用し、市内全域の街路灯をLED化しています。令和4年度は新たにLED街路灯26基を設置しました。これにより、環境負荷の低減及び光熱費等の効果的な削減を図っています。



8-2 廃棄物の減量、リサイクルの取組

★フードドライブの実施

環境保全課・ごみ減量推進課

西東京市社会福祉法人連絡会が行っているフードドライブ事業に、協力し、エコプラザ西東京などで食品の受入れを行いました。

また、市主催によるフードドライブも令和4年度は2回実施しました。期間中に集めた食品は、食の支援が必要な方に配付しました。

その結果、1,038kg-CO₂の二酸化炭素を削減できました。

※食品ロスに係るCO₂排出原単位 0.46t-CO₂/t（「食品ロス削減関係参考資料（消費者庁教育推進課）」として算出）



★食品ロスの削減

危機管理課【賞味期限の近い災害備蓄食料を学校給食や市民団体主催の防災訓練等に積極的に活用し、入替に伴う処分量を削減】

○市民団体（13団体）：32箱

○訓練等（5件）：54箱

○小・中学校給食（19校）：319箱

災害備蓄食料を提供することで、防災意識の向上が図れたことやフードロスなど環境への配慮という点においても活用することができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響からか、例年より提供数が減少しました。例年利用している団体等以外にも広めるために、庁内掲示板など利用し、広報していきます。

★工事での環境物品(エコセメント等)の使用の徹底 道路課

二次製品のコンクリートとして、可燃ごみを焼却してできた灰を再利用した「エコセメント」があり、地面ブロック等の用途に使われています。このエコセメントを、全ての対象工事において使用しております。

エコセメントを用いたコンクリート二次製品：129,383kg

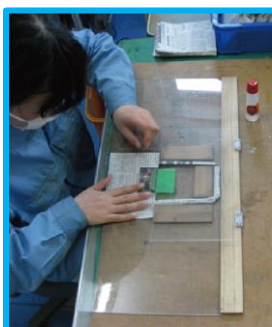
★古紙類の資源化促進

ごみ減量推進課【ざつがみばっぐの無償配布等】

令和4年度配布枚数 ざつがみばっぐ 2,730枚（前年度 2,174枚）

古紙類の資源化の促進を図るため、障害者自立支援に係る雇用により、新聞を活用した「ざつがみばっぐ」を作成し、田無庁舎、エコプラザ西東京において無料配布を行いました。

紙袋を使った分別排出し易い方法により、一層のごみの減量化と資源化を推進しました。



★ごみ分別アプリの活用

ごみ減量推進課

【ダウンロード数(累計)令和4年度 51,495 件】

平成 25 年度にリリースしたごみ分別アプリを活用して、ごみの減量や排出マナーの向上を目指しています。周知を行うことで、利用者は年々増加しています。

参考： 令和 2 年度 36,768 件

令和 3 年度 44,000 件



★エコキャップ回収

幼児教育・保育課（保育園）

園児、保護者、地域の利用者、職員に呼びかけ回収し、保護者や地域への啓発にも繋がりました。

スポーツ振興課

施設内で購入した飲料水の空ペットボトルを、分別して捨てる際のキャップを回収するため、ペットボトル回収 BOX の横にエコキャップ用の容器を配置しています。



★紙の再利用の取組

幼児教育・保育課（保育園）

梱包材として使用されている紙やカタログや広告は、切って折り紙として再利用したり、制作時の台紙に使用した後、拭き掃除などに再利用したりしています。



★不要タオルの再利用

幼児教育・保育課（保育園）

不要タオルを足ふきマット、雑巾等に再利用しています。その後更に汚物処理等に使用してから廃棄します。



★エコに関する事業の開催

児童青少年課（児童館（主なもの））

- ・牛乳パックを活用したブンブンゴマ作成【ひばりが丘北児童センター】
- ・梱包資材などを利用した工作の実施【芝久保児童館】
- ・空き容器やペットボトルを活用して虫かごを作成し、校庭で虫取りに利用した（芝久保第二学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・校庭に落ちている松ぼっくりを拾い貯めてクリスマスツリー作りに利用（芝久保第二学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・段ボール、牛乳パック、空き箱を自由遊びの時間に子どもたちが好きなように使えるようにしておいてドールハウス、ビー玉迷路、ガチャガチャ、ロボットなどの作成（上向台第二学童クラブ【芝久保児童館】）
- ・ガムテープの芯を活用したおきあがりこぼし作成【新町児童館】
- ・段ボールを活用した写真立てや富士山の絵の作成【新町学童クラブ】
- ・ゼリーカップを使った風鈴【向台第三学童クラブ】
- ・ペットボトルを利用したスノードーム作り【西原北児童館】
- ・牛乳パックと端切れで作ったペン立て作り【けやき学童クラブ】
- ・お菓子の空き箱と余り毛糸で作った毛糸の帽子キーホルダー作り【けやき第二学童クラブ】
- ・アイスのカップを使った風鈴作り（中町第二学童クラブ【中町児童館】）
- ・ペットボトルを活用しポーリングを実施【田無児童館】
- ・ラップの芯を活用し的あてに使用【田無児童館】
- ・ペットボトルキャップで幼児のおもちゃを作成【田無柳沢児童センター】
- ・CD ケースで写真立て作成【田無柳沢児童センター】
- ・廃材を活用した自由工作「親子で自然派工作隊」【保谷柳沢児童館】
- ・空きペットボトルを活用した魚のマラカス作り【保谷柳沢児童館】
- ・セロテープ芯、トイレットペーパー芯を活用した七夕飾り工作（保谷柳沢第二学童クラブ【保谷柳沢児童館】）
- ・牛乳パックを使ったビー玉迷路【北原児童館】
- ・発泡トレイの魚釣り【北原児童館】
- ・トイレットペーパーの芯を活用したロケット作成（谷戸第二学童クラブ【北原児童館】）



8-3 みどりの保全・創出の取組

★公園、緑地の活用

みどり公園課

- ・緑地保全地区の活用
下保谷四丁目特別緑地保全地区では、令和4度は5回の一般開放イベントを実施しました。
○合計来場者 2,031人



- ・西原自然公園の植生・管理

西原自然公園植生管理計画に基づき、植生管理委託で14本伐採しました。2月に市民団体と協働して開催しているイベント「山仕事体験会」にて伐採した樹木の一部をイベント参加者に配布しました。



★小規模公園・緑地活用と地域管理の推進

みどり公園課

ちいさな公園ヘルシーウォークラリーの実施に際しては、コースの途中にあるカフェやパン屋等も紹介し、楽しみながら歩くことができるように工夫を行いました。



ウォーキングマップ

★緑と花の沿道推進事業

みどり公園課

宅地と道路との接道部の緑化を推進するとともに、併せてブロック塀等の倒壊による災害の発生を防止することを目的に、道路沿いに新たに生垣や花壇の造成、フェンスの緑化、それらに伴う既存のブロック塀、万年塀等を撤去しようとする方へ必要な経費の一部を補助しました。

令和4年度実績

助成件数 4件 造成延長 44.0m

★屋上緑化・グリーンカーテンの実施

公共施設に屋上緑化、グリーンカーテンを実施しています。



南町スポーツ・文化交流センター
(きらっと)



東伏見コミュニティセンター

★植物の育成

幼児教育・保育課（保育園）

全10園（直営）で実施。園庭の畑やプランターで、保育活動の一環として園児とともに草花（フェリッパ、ヒマワリ等）、野菜（ピーマン、オクラ、トマト、インゲン、キュウリ、ナス等）やグリーンカーテン（ゴーヤ、アサガオ等）を育てました。



なかまち保育園



すみよし保育園



けやき保育園

★生産緑地地区の指定

都市計画課【令和4年度の指定状況：286地区（約105.4ha）】

生産緑地地区として市内の農地等を保全することにより、良好な都市環境の形成が図られます。また、生産緑地地区は、環境保全、景観形成、生物多様性の保全だけでなく、避難所としての役割など多様な機能を有しています。しかし、年々減少傾向にあることから、その保全や新たな価値を創造するような検討を進めています。

★道路の植栽帯の確保

道路課

市内におけるみどりの創出のため、東京都苗木生産供給事業を活用し、市道における道路植栽帯の補植を行い、道路の緑化を図っています。

8-4 環境教育・環境学習の取組

★園児に対する環境意識の向上

環境保全課

保育園・幼稚園での出前講座の実施

環境保全課の職員が、保育園5歳児クラス10園に赴き、地球温暖化の話をスライドや寸劇などでわかりやすく伝えました。また、クールチョイスリーフレット（飛び出す絵本）を園児に配付しました。



幼児教育・保育課（けやき保育園）

3～5歳児クラスで、『地球のために、ぼくたち・わたしたちができること』をテーマに集会を行い、「できること」について話し合いました。また、その様子を知らせる掲示を作成したことで家庭への啓発にもつながりました。



★児童に対する環境意識の向上

環境保全課

小学校出前講座の実施

環境保全課の職員が、市内小学校2校に赴き、地球温暖化の仕組み、異常気象の影響、私たちが今できることを伝えました。また、小学生5年生に環境カレンダーを配付しました。



★環境関連図書の展示

図書館

環境に関する一般書の常設展示を保谷駅前図書館で実施しました。

また、環境問題やSDGsに関する児童書の期間展示を谷戸図書館と柳沢図書館で実施しました。特に児童書の展示も行うことで児童生徒に環境意識を高めてもらうように努めました。

8-5 その他の取組

★第1回にしとうきょう環境アワード

環境保全課

にしとうきょう環境アワードは、脱炭素社会につながる環境にやさしい行動に取り組むまちづくりを進めるため、積極的で優れた環境活動を行う個人・団体・学校・事業者の方を表彰するものです。

令和4年11月13日に開催した環境フェスティバルで表彰式を行い、受賞団体には市長から表彰状が授与されました。

●表彰団体 33 団体



岡庭建設株式会社	高橋家屋敷林保存会	下保谷の自然と文化を記録する会
西東京 自然を見つめる会	芝三寿会	柳沢小学校PTA
中原小学校PTA	中原小学校育成会ひばり	ハハマナブ
西原自然公園を育成する会	ヤギサワ 花プロジェクト2022	西東京市青少年育成会「にしはら」
NPO法人 世界の子どもたちに暖かいセーターを送る会	NPO法人 環境ノ森 (金井 修)	NPO法人エコメッセ 水・緑・木地 西東京店
公益社団法人 西東京市シルバー人材センター	保谷小学校	上向台小学校
東伏見小学校	中原小学校 第4学年	中原小学校 環境委員会
谷戸小学校	谷戸第二小学校	栄小学校
保谷第二小学校	保谷第二小学校 環境・理科委員会	碧山小学校
ひばりが丘中学校	保谷中学校 ボランティア部	柳沢中学校 50周年花壇プロジェクト事務局
田無第一中学校 第3学年	田無第一中学校 1J学級	田無第一中学校 生徒会本部

●受賞者の活動の一部を紹介します

○岡庭建設株式会社

自然素材や雨水利用など、自然環境に配慮した人と地球に優しい家づくりを手掛けています。太陽や風などの自然エネルギーを建築の中に取り入れて活かす設計技術「パッシブ・デザイン」を採用し、できるだけエネルギーを使わない家づくりに取り組んでいます。

○西東京市青少年育成会「にしはら」

環境美化の事業の一つとして「クリーンデーとけやきフレンドパーク」を実施。

通学路のゴミ拾いとごみの分別、リサイクル工作、ペットボトルを利用したゲーム、公民館、けやき小学校の花植えなどを行っています。

○田無第一中学校 IJ 学級

・花いっぱい運動：植物を育てることによって、植物のはたらきについて知り、地球温暖化と植物の関係を学んでいます。

・牛乳パックから和紙作り：自分たちで実際にリサイクルすることによって、ごみと思われるものが資源になること、ごみの量を減らせることを実感しています。

○保谷第二小学校

保二小花プロジェクトの実施

・ヒマワリプロジェクト：3・5年生の花大使によるヒマワリの栽培

・松葉ボタンプロジェクト4年生の花大使による松葉ボタンの栽培

・近隣の大学、高校、中学校や施設に花大使による苗の贈呈

※他の受賞者の紹介は、市ホームページに掲載しています。

(トップページ>くらし・手続き>環境>環境に関する取り組み>第1回にしとうきょう環境アワード 表彰式を開催しました!)

★にしとうきょう環境チャレンジ

環境保全課

にしとうきょう環境チャレンジは、市民自らが環境配慮行動を実践することにより、家庭での二酸化炭素排出量削減への取組を行った方に対して、ポイントが付与される西東京市独自のポイントプログラムです。獲得したポイントに応じて環境に配慮した賞品等が当たります。令和4年度は100世帯から応募をいただき、抽選の結果、83世帯が当選しました。



★農業振興、地産地消に向けた取組の推進

産業振興課

・農のアカデミー体験実習農園事業

88回実施

都市農地貸借円滑化法を活用し、農地を借りて「農のアカデミー体験実習農園」で事業を行っています。小学校、幼稚園、保育園の6団体の受け入れをして、延べ1313人参加しました。



・めぐみちゃん農産物等販売会（マルシェ）の開催
地産地消を目的としためぐみちゃんメニュー事業の一環として、農産物の販売及び農産物を使った加工品を販売するマルシェを開催しました。



①田無駅北口ペDESTリアンデッキ

出品事業者：9事業者（農業者6、商工業者3）

②下保谷四丁目特別緑地保全地区：4事業者（農業者2、商工業者2）

★第16回縄文の森の秋まつり

社会教育課

下野谷遺跡の周知を目的とし、遺跡公園を活用し、専門家による下野谷遺跡から出土した遺物等の解説、縄文時代に関連した手芸や体験、実演の場を設け、約1,000名が来場しました。



歴史的・文化的環境資源としての遺跡について学ぶとともに自然と共存した縄文人の知恵を知ることで環境学習につなげることができました。

★雨水浸透施設設置に対する助成事業の推進

下水道課

住宅の屋根に降った雨を地下へ浸透させることにより雨水の流出を抑制し、これにより地下水のかん養及び潤いのあるまちづくりに寄与します。

令和4年度助成実績 2件 286,550円

★工事での透水性舗装の採用 道路課

歩道透水性舗装 467 m²

透水性舗装は、雨水のかん養につながるとともに、空隙が大きく蓄熱性が小さいことから、夏場は一般のアスファルト舗装よりも表面温度が低くなります。よって、ヒートアイランド現象の緩和にも効果があります。

★eLTAX（エルタックス）

市民税課 【電子申告・電子申請の利用を推進し、税務事務の効率化を推進】

法人市民税 5,429 件（対前年度（4,920 件）比 10.3%増。）

個人市民税 178,638 件（対前年度（175,606 件）比 1.7%増。）

法人市民税の申告書について、毎月市内事業所への申告等案内の中で電子申告利用 PR を行い、個人住民税については、総括表送付時にエルタックスの案内を同封するなどして周知・利用率向上に努めました。

★固定資産税の減額

資産税課 【省エネ改修の促進及び認定長期優良住宅の普及により、廃棄物、CO₂の排出抑制を図る。】

①省エネ改修 10 件（前年度 9 件）

②認定長期優良住宅 175 件（前年度 115 件）

省エネ改修を年 4 回、認定長期優良住宅を年 3 回市報に掲載、ホームページには常時案内を掲載しています。内容の問い合わせは継続的にあり、今後も普及活動に努めます。

（※1）省エネ改修とは、窓、床、天井及び壁の断熱性を高める工事をいう。

（※2）認定長期優良住宅とは、長期優良住宅の普及の促進に関する法律（平成 20 年法律第 87 号）の規定に基づき、耐久性・安全性等の住宅性能が一定基準を満たすものとして認定を受けた住宅をいいます。

★ペイジー口座振替登録

納税課 【ペイジー口座振替登録促進による資源の削減】

ペイジー口座振替受付件数 令和 4 年度 397 件（前年度 369 件）

ペイジー口座振替の案内により、口座登録の促進を図ることで紙資源の削減に繋がりました。今後もキャッシュレス決済などの納付方法と併せて、口座振替の促進に努めます。

★合成洗剤削減への取組

令和5年2月末現在

「手洗い・食器用洗剤」は合成洗剤ではなく石けんとし、全庁的に切替に取り組んでいます。

以下は、切替が終了した施設です。

- ・田無庁舎/保谷庁舎
- ・出張所 2施設
- ・市民交流施設 23施設
- ・図書館 6館
- ・田無総合福祉センター
- ・住吉会館ルピナス
- ・コミュニティセンター 2施設
- ・保谷こもれびホール
- ・西原総合教育施設
- ・コール田無
- ・消費者センター分館
- ・福祉会館等 5施設
- ・障害者総合支援センター(フレンドリー)
- ・地区会館 11施設
- ・スポーツ施設 3施設
- ・西東京いこいの森公園

以下の施設については、合成洗剤も使用しています。

- ・保谷障害者福祉センター
（手洗い用・食器洗い用）…石けん（洗濯用）…合成洗剤
- ・保育園(16園)
石けん（手洗い用）…16園（食器洗い用）…12園（洗濯用）…14園
合成洗剤（食器洗い用）…4園（洗濯用）…4園（食器洗浄機用）…16園
- ・児童館・学童クラブ(47施設)
石けん（手洗い用）…47施設（食器洗い用）…39施設（洗濯用）…39施設
合成洗剤（食器洗い用）…8施設（洗濯用）…8施設
- ・エコプラザ西東京
石けん（手洗い用・食器洗い用） 合成洗剤（洗濯用）
- ・公民館(6館)
石けん（手洗い用）…6館（食器洗い用）…6館（洗濯用）…3館
合成洗剤（洗濯用）…4館
- ・小学校(18校)
石けん（児童手洗い用）…18校（食器洗い用）…18校（洗濯用）…17校
合成洗剤（洗濯用）…1校
- ・中学校(9校)
石けん（生徒手洗い用）…9校（食器洗い用）…9校（洗濯用）…8校
合成洗剤（洗濯用）…1校

8-6 職員研修

時間的制約を受けず、職場の端末で効果的に行うことができるeラーニングプログラムによる環境に関する選択問題形式の研修を、市職員を対象に実施しました。職場で実践できる省エネのポイントや環境マネジメントシステムの知識理解等の問題が出題され、1,696人（会計年度任用職員含む。）の職員が受講しました。

8-7 環境コミュニケーション

西東京市で行った大気や騒音等の環境調査の結果を、ホームページや事務報告書等で公表しています。

令和4年度までの過去5カ年において、市域にて発生した住民からの環境苦情は以下のとおりです。苦情の件数は年度によって変動はあるものの概ね横ばいとなっています。建設・解体工事等に関する騒音や、化学物質などによる悪臭、野焼きなどによるばい煙（大気）等の苦情が多く寄せられています。良好な生活環境の確保のためにも、適切な指導を行っていきます。

過去5カ年の環境苦情受付件数

現象別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大気	13	7	19	16	14
水質	0	0	0	0	0
騒音	31	45	52	39	25
振動	9	5	4	9	21
悪臭	8	21	13	12	5
土壌	0	0	0	0	0
その他	10	4	3	2	1
合計	71	82	91	78	66

8-9 環境法規制等の遵守状況

西東京市の各事業活動において、環境関連の法規違反及び訴訟、異常事態の発生等はありませんでした。

9.市長による全体評価及び取組

1 全体の評価

西東京市域の温室効果ガスは、前年度比 2.4%増であり、2030 年度目標及び 2050 年温室効果ガス実質ゼロの目標には大きな開きがあることから、市民、事業所への環境配慮行動の促進、省エネルギー、再生可能エネルギー設備の導入を促す事業展開が重要である。

令和4年度では、新たに「にしとうきょう環境チャレンジ」、「にしとうきょう環境アワード」が行われおり、また従来のエコプラザ西東京における環境講座、未就学児・小学生に対する出前講座などの環境教育・環境学習事業が行われている。地球温暖化対策には、市民・事業者との協働が不可欠なことから今後も環境意識の向上に向けた取組を積極的に行うこと。

また、温室効果ガスの削減の一要因となっている廃棄物の発生抑制の取組、二酸化炭素を吸収するみどりの保全・創出の取組は、引き続き、施策展開を図ること。

なお、市の事務事業から発生する温室効果ガス排出量は、前年度比 4.1%増となっている。西東京市も市内の一事業者であることから、削減目標に向けて一層の取組が急務である。公共施設の設備更新時における省エネ性能の高い設備への切り替え、再生可能エネルギーの電力調達、職員の日常業務の際の環境意識の高い率先行動などに積極的に取り組んでいく必要がある。

2 今後の取組

市では、「西東京市第2次環境基本計画後期計画」及び「西東京ゼロカーボンシティガイドライン」を踏まえ、以下の取組を推進すること。

- (1) 地球温暖化対策は、市民、事業者との協働が必要であることから、環境フェスティバルをはじめとするイベントによる情報発信、にしとうきょう環境アワードや、にしとうきょう環境チャレンジなどの普及啓発事業に注力すること
- (2) 市域の温室効果ガスを削減するためには、家庭・事業者から排出される二酸化炭素の削減が重要であることから、ニーズを踏まえた削減効果の高い支援策を検討すること
- (3) 保育園、幼稚園、小学校での出前講座の実施など、子どもたちに環境の大切さを知ってもらうための環境教育を充実させること

- (4) 温室効果ガスの削減には、二酸化炭素の吸収源となる森林の創出が重要であることから、森林整備を通じた環境学習やカーボンオフセットを検討すること
- (5) 公共施設において、エネルギー使用量や設備投資によるイニシャルコストやランニングコストを比較し、エネルギー効率の高い空調設備及びLED照明器具への取替を実施すること。
- (6) 公共施設からの温室効果ガス排出量の6割が電気使用によるものであることから、再生可能エネルギー由来の電力調達を積極的に進めること
- (7) 市職員の事務事業と温室効果ガスの削減の関連性を意識する必要があることから、入庁時における研修、全庁でのeラーニング研修など、機会をとらえて地球温暖化対策に関する研修を行うこと

西東京市環境白書・環境活動レポート

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）

発行：西東京市 令和6年3月

編集：西東京市みどり環境部環境保全課

〒202-0011

東京都西東京市泉町3-1 2-3 5 エコプラザ西東京

TEL：042-438-4042（直通）

FAX：042-438-1762